

編集 後記

現在、わが国の保健・医療・福祉の分野は大きな変革期にあるとよく言われます。医療制度改革を始めとするさまざまな改革や法改正が大きな潮流となっており、わが国は明治維新と第2次世界大戦敗戦に次ぐ大きな転換期にあります。

一方では、evidence basedであることの重要性は概念的には拡がりつつありますが、社会に広く適正に行き渡っているかと問えば、未だその途上にあると言わざるを得ない状況にあります。エビデンスに基づく健康政策・施策となっているかどうか、わが国に適した学術的に十分なエビデンスがあるかどうか、また住民に大きな影響を与えるメディアやインターネットを通じて毎日あふれる情報がエビデンスに基づいているのかどうかは、学術的視点においても、行政的視点においても重要なポイントです。このような意味合いからも健康政策・施策に直接影響する日本の論文が増加してくることは、判断材料が質・量共に高まることであり、公衆衛生の現場である保健所にいる私には大変心強く感じられます。

日本公衆衛生雑誌第54巻第3号では、原著論文を4つお届けします。異なる分野を扱ったこれらの原著論文はいずれもわが国のエビデンスとして貴重であります。これらの論文が健康政策・施策に与え得る影響を読み解く力及び現場から発信する力が公衆衛生の最前線である保健所にも必要であり、またわが国の変革期にあって社会から求められている力であることを、保健所における多

4号予告 (第54巻・第4号)

原 著

日本の市町村保健師による事業化プロセスの経験とその関連要因……………吉岡京子, 他
 心理的健康の維持・増進のための望ましい生活習慣についての疫学研究……………大平哲也, 他
 森永ひ素ミルク中毒被害者の青年・中年期 (27歳～49歳) における死亡の解析……………田中英夫, 他

資 料

喫煙歴のある入院患者に対して退院後に行う郵送喫煙状況調査の返信行動とその関連要因

……………大西聖子, 他
 Understanding Treatment Attitudes toward Dementia: Differences among community residents and health care professionals ……Hiroaki Miyata, et al

くの仲間と共有すると共に、学術分野を始め多くの会員の皆様にもこのような力が現場に今最も求められていることをこの機会にお伝えしておきたいと思えます。

今年は本誌が大きく変わります。本誌がこれからもわが国の公衆衛生学の発展に寄与し、また、健康政策のエビデンスの供給源ともなりますよう、会員の皆様のご理解と協働をお願いする次第です。(古屋 好美)

日本公衆衛生学会生涯学習・研修委員会 主催 「公衆衛生活動・研究論文の書き方研修」のご案内 (第二報)

下記の日程で、公衆衛生活動・研究論文の書き方研修 (3日間) の開催を予定しています。受講を希望される方は、平成19年度の年間計画など立案時に加えていただければ幸いです。

期 日：2007年8月1日 (水) —8月3日 (金)

主 管：滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門

場 所：滋賀医科大学マルチメディアセンター

受 講 者：40名程度、地方自治体の保健医療職などを優先するとともに、幅広い分野から構成する予定です。

受講条件：Windows (Excel など) を基本的に使用できる人

研修費 (予定)：日公衛学会会員 5,000円 非会員15,000円

研修会の内容：公衆衛生活動・研究の立案から評価、さらに論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方の習得を目指します。公衆衛生活動・研究の計画・評価に必要な疫学・統計の講義、グループワークを通じた計画書作成の実習、SPSSを利用した簡単な統計演習 (t検定, カイ二乗検定, 交絡の調整, さらに論文・科学的な報告書の書き方のレクチャーなどを含んだものとなる予定です。

申込方法：日本公衆衛生雑誌4月号に掲載の予定です

第10回日本地域看護学会学術集会のご案内

日 時：2007年7月28日(土)・7月29日(日)

会 場：神奈川県立保健福祉大学(神奈川県横須賀市平成町1-10-1)

第10回日本地域看護学会学術集会が別所遊子会長(神奈川県立保健福祉大学 看護学科)のもとで、平成19年7月28日～7月29日の2日間にわたり開催されます。

保健医療福祉の制度の大きな変革の中で、学会は設立10周年を迎えました。第10回学術集会では、皆さまの研究・教育・実践活動の成果を発表し、意見交換していただくために、口演、示説、交流集会を企画しました。あわせて、10周年記念シンポジウムも開催される予定です。地域看護学の発展に向けて、実り多い時間を共に過ごすことができますよう、多くの方々のご参加をお待ちしています。なお、詳細は下記まで問い合わせ下さい。

内 容：会長講演、10周年記念シンポジウム、教育講演、一般講演(口演・ポスター発表)、交流集会

参加費：会員(2007年5月31日以前の申し込み：6,000円、2007年6月1日以降の申し込み：8,000円)

非会員(2007年5月31日以前の申し込み：8,000円、2007年6月1日以降の申し込み：9,000円)

学生(学部生のみ：4,000円)

参加費振り込み先：第10回日本地域看護学会学術集会 郵便口座番号00280-8-132922

参加申し込み：事前申し込み期限 2007年5月31日(木)；振り込み期限 2007年6月29日(金)

問い合わせ先：〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部看護学科内

第10回日本地域看護学会学術集会事務局 FAX：046-828-2617

*お問い合わせはファクシミリにてお願いいたします。

第20回日本循環器病予防セミナー案内

実行委員長：岡山 明(国立循環器病センター予防検診部部长)

期 日：平成19年7月26日(木)～30日(月)

場 所：結核予防会結核研究所 〒204-8533 清瀬市松山3-1-24

主 催：社団法人 日本循環器管理研究協議会 財団法人 日本心臓財団

後 援：(予定)日本医師会 日本循環器学会 日本疫学会 日本脳卒中学会 日本公衆衛生学会 日本高血圧学会 日本保険医学会 日本産業衛生学会 結核予防会(順不同)

セミナーの内容：研究の企画・実施のポイント(講義)

意義が高く実施可能な循環器疾患予防・臨床研究デザインの作成

- グループワークによる検討と全体討論
- 研究規模(概ね年額5000万円以内、3-5年間)
- 厚生労働省・文部科学省等の研究費補助金を獲得できる内容

受講料：セミナー費用、食事代(3食)込みで3万円。

受講申込み：所定の申し込み用紙にて、5月14日(月)までに事務局に申し込んでください。

5月末日までに選考の上通知いたします。申込書は事務局(日本循環器管理研究協議会)まで請求してください。(自薦、他薦は問いません)

事務局(申し込み・問い合わせ)：社団法人 日本循環器管理研究協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-48-10 25山京ビル305号

TEL：03-3989-0680 FAX：03-3989-0953

E-mail：fvgh4570@mb.infoweb.ne.jp